

凡例

- 津波浸水想定区域
- 土砂災害警戒区域

標高

0 3m 10m 20m

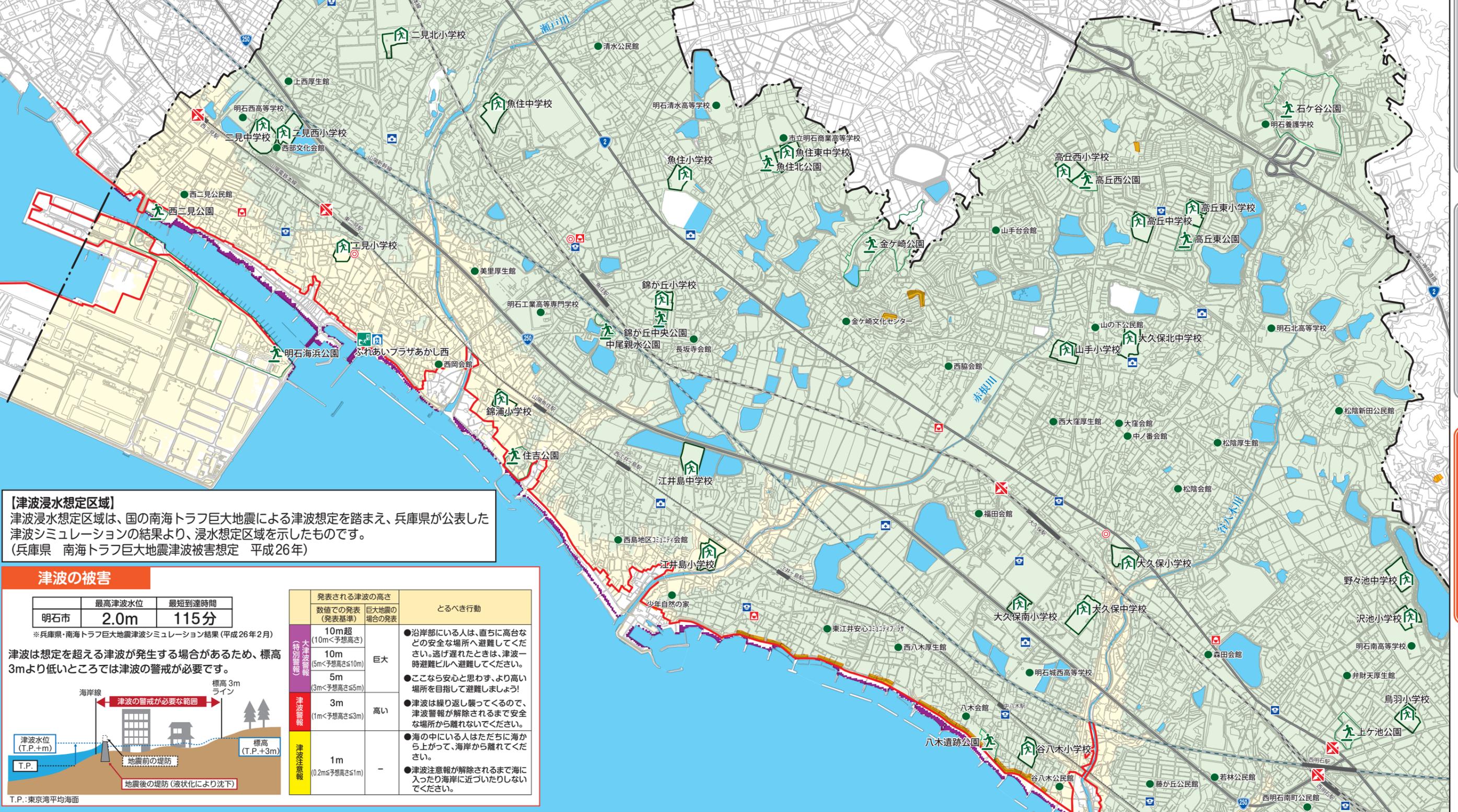
津波の警戒が必要な範囲 (標高3mライン)

災害時帰宅支援ステーション (このステッカーの貼られているところ)



災害時帰宅支援ステーションとは、大規模災害により交通が途絶したとき各店舗が可能な範囲で帰宅困難者へ「水道水」、「トイレ」、「道路情報などの情報」の提供をしていただける店舗です。

以下の地域をはじめとして、全国に普及しつつあります。
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、三重県及び奈良県の府県域 (京都市、大阪市、堺市及び神戸市の4政令市を含む)



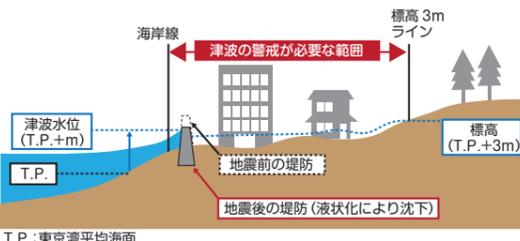
【津波浸水想定区域】
津波浸水想定区域は、国の南海トラフ巨大地震による津波想定を踏まえ、兵庫県が公表した津波シミュレーションの結果より、浸水想定区域を示したものです。
(兵庫県 南海トラフ巨大地震津波被害想定 平成26年)

津波の被害

明石市	最高津波水位	最短到達時間
	2.0m	115分

※兵庫県・南海トラフ巨大地震津波シミュレーション結果(平成26年2月)

津波は想定を超える津波が発生する可能性があるため、標高3mより低いところでは津波の警戒が必要です。



T.P.: 東京湾平均海面

発表される津波の高さ	とるべき行動
10m超 (10m<予想高さ)	●沿岸部にいる人は、直ちに高台などの安全な場所へ避難してください。逃げ遅れたときは、津波一時避難ビルへ避難してください。
10m (5m<予想高さ≤10m)	●ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!
5m (3m<予想高さ≤5m)	●津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
3m (1m<予想高さ≤3m)	●海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。
1m (0.2m<予想高さ≤1m)	●津波注意報が解除されるまで海に入ったたり海岸に近づいたりしないでください。

1 はじめに

2 風水害

3 地震・津波

1 はじめに

2 風水害

3 地震・津波